

子育て王国そとじや

インタビュー
Interview



輝いている人

テニスを続け、
実業団でプレーしたい

8月、岐阜県で行われた全日本小学生ソフトテニス選手権大会の男子団体戦で優勝、個人戦でも5位入賞したのが遠藤爵由くん（総社小学校5年）だ。

大会には岡山県選抜チームのメンバーとして出場。「自分のプレーを思いっきりし、チーム一丸となって戦い、団体戦で優勝できた」と、笑顔で話す。

団体戦は3ペアが試合に出場し、勝敗を競う。「勝つて後につなげたい」。決勝や準決勝など3試合で最初の試合に出て勝った。チームに勢いをつけ、ムードを盛り上げたそうだ。

決勝で対戦した相手は、個人戦で負けた奈良県のペア。「個人戦のリベンジだ」と意気込んで臨んだ。途中、セット数で先行を許した。決勝と準決勝でペアを組んだ岡山市の光森くんと相手

の動きや弱点を分析しながら、流れを引き寄せた。フルセットの熱戦の末、4-3と逆転勝ちし、団体優勝に大きく貢献した。

幼稚園のときソフトテニスに出会い、総社ジュニアソフトテニスクラブへ入った小学1年のときから本格的に始めた。今では週5日、練習に通い、「一本一本集中してやりたい」と、日々技術に磨きをかけている。

最初は前衛だったが、4年のとき後衛に転向。プレ1の幅が広がった。糸島監督は、「運動量もすごく、小技もうまい。試合では強気に攻める」と遠藤くんのプレースタイルを評する。

将来の目標を尋ねると、「実業団でプレーすること」と、きっぱり。実業団に進むクラブの先輩に憧れ、ずっとテニスを続けていきたいと目を輝かせる。

全日本小学生ソフトテニス選手権大会の男子団体戦で優勝、個人戦でも5位入賞した

遠藤 爵由くん（総社）



絵本の読み聞かせ



子どもたちは、絵本を読んでもらうことが大好きです。

子どもの心を豊かに育てるためには、肌のふれあいと同じように、お母さんやお父さんからの心のこもった語りかけが大切です。絵本を読んで聞かせてあげることもその一つです。耳から入るやさしい言葉は、子どもたちの心の成長や創造力を高めてくれることでしょう。

市内では、読み聞かせボランティア団体の活動が活発です。子どもの心を豊かにと、読み聞かせ活動がんばっています。機会があれば、参加してみてください。出張して読み聞かせをしてくれる団体もあります。詳しくは、市社会福祉協議会（☎92-8555）までお尋ねください。

市図書館では、毎月広報紙でお知らせしているように、「えほんのもり」という絵本の部屋で定期的に絵本やお話を楽しむ時間を設けています。読み聞かせボランティア団体の皆さんや図書館職員が、絵本や紙芝居、エプロンシアター、手遊びなどを通じて、絵本の世界にいざなってくれます。

写真は、乳幼児を対象にした読み聞かせ「このゆびとまれ」。毎月第4火曜日の午前10時から、市図書館で開かれ、読み聞かせは、ボランティア団体が交代で担当しています。神宮心春ちゃん（2歳）と来たお母さんの麻衣さん（中原）は、「子どもが絵本を好きなので、よく来ます。お友だちもいるし、喜んでいきます。絵本を借りて、家でも読んで聞かせています」と。心春ちゃんは、お気に入りの絵本を持って、「好き」と教えてくれました。



栄養委員さん おすすめおやつ

おやつぎょうざ

(2個分 約40 kcal)



◆材料・数量（30個分）

- ぎょうざの皮……30枚
- カボチャ……300g
- チーズ（5mm角）……50g
- コーン……大さじ3
- 揚げ油……適宜

◆作り方

- ① カボチャは皮をむいて乱切りにし、蒸してつぶす。ゆでたり、電子レンジを使って軟らかくしたりしてもよい。
- ② つぶしたカボチャに、チーズとコーンを入れ、混ぜ合わせる。
- ③ ②をぎょうざの皮に包んで、油で揚げる。

◆アドバイス

具をアレンジしたり、春巻きの皮に包んだり、コロッケにしてもおいしいよ。